

RACING

レーシング・ウイメン

ハイランド真理子=文

WOMEN



#1 Sue Lloyd-Williams

[スー・ロイド・ウイリアムズ]

{ メルボルンカップを
世界的成功へ導いた女性 }

オーストラリア競馬の始まり

オーストラリアに初めて馬がやってきたのは、一七八八年、『FIRST FLEET（ファーストフリート）』と呼ばれる、英国初の移民船が到着したときのことだった。船の経由地であった南アフリカのケープタウンから連れてこられたのは、一頭の牡馬、二頭のフィリー（若い牝馬）、そして三頭のメア（牝馬）であった。厳しい自然環境のため、五年後には牡馬と牝馬それぞれ一頭ずつしかサバイヴできなかったものの、馬は未開の地であったオーストラリアを探索するためには欠かせない存在であったため、一七九九年には南アフリカから英国産のロッキンガムが、一八〇二年にはアメリカからワシントンが、英国からノーザンバランドが輸入された。オーストラリアのサラブレッドの血統書に記された最初の馬たちである。探索を終えた兵士や、流刑に処された罪人たち、その他の移民たちの気持ちをケアするために、馬たちによるレースが行われ始めた。これがオーストラリア競馬の始まりだった。現在、この国には競馬場が四百以上もある。私は、競馬場を「村の鎮守の神様」と喻えているのだが、それは競馬場が、村の人々の社交の場であり、心を慰める場でもあったか



メルボルンカップを世界的成功に導いた女性スー・ロイド・ウィリアムズ・ダブリンでオーストラリア大使と一

©VRC

らだ。オーストラリアの人々にとって競馬は、一種、宗教的な意味合いさえも持つのである。

オーストラリア初の本格的な競馬は、最も早くつくられた町・シドニーの中心地、ハイドパークで行われた。英国女王が派遣したマクワリー総督が、英国のハイドパークにちなんで一八〇年に名付けたこの場所は、競馬だけでなく、クリケットなども行われる、当時のオーストラリアのスポーツの中心地であった。現在のハイドパークは、英国風ガーデンに様変わりして、ランチタイムには付近のビジネス街からサンディッチやSUSHIなどを手にしたビジネスマンたちが集まってくる。

オーストラリアで最初のジョッキークラブ、オーストラリア・ジョッキークラブ（AJC）も、最初はこのハイドパークで競馬を行なった。AJCはその後、シドニーの西方地区（シドニーオリンピックを実施した場所）でも競馬を開催し、さらに一八六〇年、シドニー市南方に新たに競馬場を建設して、オーストラリア競馬の最初の拠点とした。現在のロイヤルランドウィック競馬場である。

一方、ビクトリア州のメルボルンでは、バットマンズヒルという場所に競馬場が作られ、一八三八年に競馬が行なわれている。現在のメルボルンでフレミントン競馬場を所有するビクト